

## 令和7年度 第3回 国立大学法人鹿屋体育大学経営協議会議事要旨

1. 日時:令和7年10月23日(木) 13時30分~14時38分
2. 会場:Web会議(鹿屋体育大学大会議室)
3. 出席者:【学内委員】金久、前田、猪村、印南の各委員  
【学外委員】上治、小川、宮嶋、森岡の各委員
4. 欠席者:中西、藤本の各委員
5. オブザーバー:武隈監事、小林監事
6. 列席者:北村学長補佐、田巻学長補佐、竹中学長補佐、藤田学長補佐、関附属図書館長、事務局次長(兼)研究・社会連携課長、教務課長、学生課長、国際・学術情報課長、総務課長、経営戦略課長、施設課長、監査室長、会計室長
7. 内容:  
(質疑の○は学外委員の発言を、●は学内委員及び学内者の発言を示す。以下同じ。)

### 1)確認事項(確認資料1)

令和7年度第2回の議事要旨案について確定された。

### 2)審議事項

- (1) 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる鹿屋体育大学の適合状況等に関する報告書(公表版)について(資料1)

田代総務課長から、配付資料に基づきガバナンス・コードの適合状況報告書について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

- (2) 国立大学法人鹿屋体育大学非常勤職員就業規則の一部改正について(資料2)

田代総務課長から、配付資料に基づき非常勤職員就業規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

- (3) 国立大学法人鹿屋体育大学旅費規則等の一部改正について(資料3)

前田会計室長から、配付資料に基づき旅費規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、本件に関連して以下のとおり委員から質問や意見が寄せられた。

- :宿泊費について、上限内での実費支給ということであるが、宿泊費は大変高騰しているので、宿泊費が上限を超えた場合(領収書の金額が上限を超えている場合)は、宿泊費自体の支給がなくなるのか、上限までは支給してもらえ、超えた分は自費となるのか。どのような運用をするかを伺いたい。
- :今回の規定では、宿泊費の上限として、東京都は19,000円、福岡県は18,000円となっており、上限を超える宿泊費はあまりないと考えているが、運用としては上限までの支給とし、上限を超えた分については自費となる。ただ、本学の規定では、旅費の調整という運用もあるので、やむを得ない事情があった場合は、この限りではないという判断もできる。今後は、想定される状況等を事前にシミュレーションし、運用に支障がないようにしておく。

- (4) ふるさと鹿屋応援寄附金(ふるさと納税)返礼品の提供について(資料4)

あべ松研究・社会連携課長から資料に基づきふるさと鹿屋応援寄附金(ふるさと納税)返礼品の提供について説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、本件に関連して以下のとおり委員から質問や意見が寄せられた。

- ：企業版ふるさと納税とはまた違う形での仕組みなのか。
- ：今回は個人版のふるさと納税から試行的にスタートした形である。今後、取り組みを拡大していく中で企業版のふるさと納税についても検討していく。

### 3)報告事項

#### (1) 令和8年度鹿屋体育大学概算要求について(報告資料1)

猪村委員から、配付資料に基づき令和8年度鹿屋体育大学概算要求について報告があった。

#### (2) 令和6事業年度財務諸表の承認について(報告資料2)

猪村委員から、配付資料に基づき令和6事業年度財務諸表が承認されたことについて報告があった。

(学内外の諸情勢について)

#### (3) 学生の競技成績について(令和7年6月～9月)(報告資料3)

竹中学長補佐(競技力向上担当)から、配付資料に基づき、学生の競技成績について報告があった。また、以下のとおり委員より質問や意見が寄せられた。

- ：7月の国立競技場で行われた日本陸上選手権において、場内アナウンスで鹿屋体育大学の選手を「かや体育大学」と紹介していたため、今後大学名の間違いないように指摘したほうがよい。
- ：陸上の顧問教員にも伝えるとともに、日本陸上競技連盟にも申し出をしたい。

#### (4) 本学関係者の活躍について(報告資料4)

田代広報企画室長から、配付資料に基づき本学関係者の活躍について報告があった。また、以下のとおり委員から質問や意見が寄せられた。

- ：現在ジャカルタで開催されている体操の世界選手権で卒業生の金田希一さんがつり輪の代表で出ているようだが。
- ：金田希一さんについては、予選敗退という結果となっている。

### 4)その他

#### (1) 令和7年度の経営協議会開催日程について(その他資料1)

田代総務課長から、配付資料に基づき、次回以降の経営協議会の開催予定について説明があった。

以 上